

河内木綿でつくる 手織りコースター ワークショップ

まちライブラリー@大阪府立中央図書館
トーク&ワークショップ

2018年3月11日

・ SCHEDULE

場所／大阪府立中央図書館 1階エントランス

- ① 10:15-12:00(トーク&ワークショップ) ★参加者による本の紹介タイムも
② 13:30- ③ 14:30- ④ 15:30- ★②～④はワークショップのみとなります
★当日受付は各回15分前からです

参加費／500円(材料費) 定員／①のみ10名、②～④は各回8名



河内木綿とは？

江戸時代から明治時代にかけて、河内地方で広く栽培されていた綿から手紡ぎ、手織りされた綿布は、山根木綿(高安山麓)、久宝寺木綿、三宅木綿(松原市)などの名で知られていました。これらを総称して「河内木綿」といいます。



河内木綿はたおり工房

河内の風土が育んだ河内木綿。その種子を絶やさないう育て、地域の方に河内木綿への関心・愛着を持ってもらうため、綿の無農薬での栽培から、綿の実の収穫、糸紡ぎ、機織り、作品作り、販売まで、全ての工程を行っている工房です。

主催 : まちライブラリー@大阪府立中央図書館運営委員会
共催 : 大阪府立中央図書館指定管理者 長谷工・大阪共立・TRCグループ

